

ふくおか@ふくし

Welfare of Fukuoka



ふくおか“きずな”フェスティバル分科会の様子
(関連記事5頁)

今号の内容

- P 1 再就職支援と人材確保に向けて
- P 5 ふくおか“きずな”フェスティバルを開催しました
- P 6 ふくふくNEWS 八女工業高校ボランティア同好会の活動
- P 7 赤い羽根共同募金
- P 9 ふくふくINFO

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。

ふくおかのふくし No.196号 発行所/福岡県春日市原町3丁目1番地7 福岡県社会福祉協議会 福岡県社会福祉協議会
TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日/2025年(令和7年)3月20日 編集発行/瀬見俊夫 印刷所/株式会社インテックス福岡

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

令和7年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険)
ホームページ

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行幸用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3349)5137

TEL:03(3581)4667

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

再就職支援と人材確保に向けて



福祉人材センター就職支援専門員 土肥 信也

介護職に転職 目野 敦さん

なごみの里施設長 土居 孝男さん

希望でなければ、まずは介護について学び、この分野のことを理解した上で、就職先を探してはどうか」とお伝えし、介護福祉士実務者研修の受講を提案しました。

目野 研修終了後も介護職として就職する意思は変わらなかつたため、土肥さんに就職先を相談し、時には同行してもらいながら複数の施設を見学しました。未経験の私にとって、特にサポート体制や研修体系が魅力的だったことから、特別養護老人ホームなごみの里の面接を希望しました。

土肥 目野さんからなごみの里の面接希望を聞いたとき、なごみの里の未経験者へのサポートやキャリアアップに目を向けた人材育成方針などが、目野さんに合うと感じており、よい選択だと思いました。

—施設における新規採用職員へのサポートはどのようなものがありますか

土居 なごみの里では、介護の仕事が未経験でも安心して働くことができるように、先輩職員が

一対一で指導する担当制を設けています。新規職員と教育担当者が一緒に行動し、育成チェックリストをもとに支援に関する理解のすり合わせを行っています。また、学んだことと現場実践とのギャップを感じた時には、自己消化させず、その場で教育担当者が新規職員に説明する機会を持っています。他に、新卒者向けや中途職員向けの導入研修、階層別の研修をはじめ、施設では専門性に応じた施設研修を毎月開催するなど職員の学べる環境の充実を図っています。

目野 先輩職員のそばについて業務内容を覚えるところから始め、現在は少しずつひとり業務を任せられるようになってきました。人と直接接する仕事は初めてでしたが、困ったことがあれば周りの職員に相談できるので安心してチャレンジすることができています。私は中途採用ですので、導入研修が同時期に就職した職員とのコミュニケーションを深める場になっています。

目野さんの就職活動

job hunting

介護福祉施設に就職した理由は

直接人の役に立つ仕事がしてみたい、社会貢献が実感できる仕事がしたいと考え、介護分野で就職しました。

今後の目標はありますか

介護福祉士実務者研修を受けてから入職したので、実務経験を3年積んで、介護福祉士の資格を取得したいと考えています

就職先を選んだポイントは

キャリアアップが明確だったことや、私のような介護職未経験者に対するサポート・研修等の教育体制、職員同士でよく声かけをしている様子が、就職先を決めるポイントになりました。

福岡県福祉人材センターを利用してよかったところ

福祉のことをよく知らなくても、自分に合いそうな就職先と一緒に探してくれる心強い存在でした。

- ①人材センターで就職相談。まずは介護福祉士実務者研修を受講
- ②介護福祉士実務者研修を受講しながら就職先を考える
- ③支援員が同行し、施設見学を行う
- ④就職希望施設に支援員が連絡。面接日時調整を行う
- ⑤面接後、採用決定



労働人口が減少する中、福祉の現場においても、人材不足が課題となっています。福岡県福祉人材センター（以下、「人材センター」）では、福祉・介護分野への就職・転職、潜在有資格者の再就職を支援しています。

今号では、人材センターを利用して他業種から介護職へ再就職した方の就職活動を通して、人材センターの就職支援、施設における介護人材の確保に向けた取組を紹介します。

—どのような就職活動を行ってか教えてください。

目野 私は昨年5月に介護職に転職しました。前職は他県の保険会社でコールセンターの管理者として勤めていましたが、「自分の将来を考えたときに、地元で人と直接関わり合う仕事がしたい」と思い、介護職に転職しよう決めました。初めにハローワークに行ってみました。就職先のイメージが求人票だけではよく分からなかったため、人材センターに就職相談をしました。

土肥 人材センターでは求職者の希望を伺いながら、できる限りミスマッチが起らないよう就職支援をしています。目野さんから、職歴や就職先の希望などを伺った際も、「早期の就職



「アナタのなりたい」を応援します。

福祉人材の無料職業紹介を行っています

就職相談 福祉の仕事を希望する際の、仕事の内容や資格、勤務条件などの相談を受け付けています。まずはお気軽にご相談ください。

職業紹介 福祉の仕事を希望される方へ、社会福祉施設などを紹介します。また、福祉人材を求めている社会福祉事業者などの相談にも応じています。

- 対象は、福祉に関するすべての職種**
- ・介護職員、介護補助
 - ・支援、指導員
 - ・介護支援専門員
 - ・保育士、保育補助
 - ・訪問介護員(ホームヘルパー)
 - ・看護職(看護師、保健師等)
 - ・PT、OT、ST等
 - ・栄養士(管理栄養士)
 - ・調理師、調理員
 - ・事務職員
 - ・社会福祉協議会職員
 - など

福祉の職場体験も行っています

人に寄り添い、笑顔に出会える福祉の仕事。その魅力ややりがいを実際に体験できる場です。福祉の仕事に興味がある、気になっているという方、ぜひ一度参加してみませんか。

参加費 無料! **学生も 参加OK!**

<p>[体験内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者との交流(話し相手、レクリエーション、趣味活動の補助など) ・利用者の介護、介助(車いす介助、食事や入浴の介助、散歩など) ・作業補助(配膳、洗濯物の整理、農作業、清掃など) <p>[体験日数]</p> <p>原則1~3日間 9:00~16:00 ※日数、時間は応相談</p> <p>[体験場所]</p> <p>県内の特別養護老人ホームやデイサービスなどの福祉施設 本会が調整した受入施設・事業所であって、参加者が希望するところ</p> <p>福岡県社会福祉協議会HPの福祉の職場体験ページ (https://fuku-shakyo.jp/jinzai/taiken/)</p>	<p>[対象]</p> <p>高校生以上ならどなたでもOK! 高校生が職場体験を希望する場合は、学校を通じて申込みをする必要があります。</p> <p>[参加費]</p> <p>無料「ボランティア保険」への加入は福祉人材センターが負担します。</p> <p>[申込]</p> <p>「福祉の職場体験事業申込書」を福岡県社会福祉協議会HPの福祉の職場体験ページ(https://fuku-shakyo.jp/jinzai/taiken/)からダウンロードし、必要事項を記入の上、窓口持参か郵送、FAXいずれかの方法でお送りください。</p> <p>FAX. 092-584-3319</p>
--	---

そのほか、各種セミナー、就職後のキャリアアップにつながる研修なども実施しています。求職登録された方には求人情報を随時提供します。

福岡県福祉人材センター

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟2階 TEL.092-584-3310



中途採用職員向けの研修の様子

「就職を後押しするためにもいろいろなことをしていますか。」

土肥 目野さんは職場体験を行った後、面接希望施設を決めました。相談員としては、求職者の希望を第一としています。職場の雰囲気や職員の様子、利用者の表情といった求人情報では分からない情報をどのように掴んで、求職者に伝えるか等についても意識しています。

土居 なごみの里では、センターなど就職支援機関に、求人情報と併せて人材育成方針なども情報提供し、はじめて介護職として就職を考えている方にも安心して働ける職場であることをPRしています。

目野 私はセンターで給与面以外に就職先を選ぶポイントとなる情報を聞いたことや、相談員が見学に同行してくれることで施設の方に質問しやすい雰囲気になっていたことが、就職活動する側にとってありがたいと思いました。

「最後に、福祉の仕事を目指す方へメッセージをお願いします。」

目野 介護職として再スタートしていくなかで、利用者から「ありがとう」と言われると少し照れますが、それが励みになりました。利用者の意外な一面を発見したり、この職ならではの楽しさも知りながら、人に喜んでもらうことや人の役に立つことを実感できることにとてもやりがいを感じています。また、この仕事は「一人の人生に寄り添う」ともやりがいのある仕事だと感じています。最初から気負いすぎずにゆっくり仕事に慣れながら、自分のからだのケアと感謝の気持ちを持ち続けることが大切だと思っています。

特別養護老人ホームなごみの里は平成14年8月に開所、定員74名、職員数58名。利用者のケアとともにそれを支える職員の仕事や意欲、マインドをサポートすることを重視しています。

個別の就職支援(マッチング)以外にも様々な事業をしています!

福祉人材センターでは、事業所、求職者双方にとって、ミスマッチが起きにくい、段階的な就職支援の仕組みを目指しており、様々なアプローチで福祉人材の確保や福祉・介護の専門職の円滑な就職を支援しています。

- ①福祉のしごと就職フェア**
福岡県最大級の福祉・介護分野の合同就職面談会です。午前・午後入替制で参加法人が変わるので、1日で多くの法人と面談することができます。また、4地区(筑後・筑豊・京築・北九州)で小規模の就職フェアも行っています。
- ②福祉の就活フェスタ**
『福祉の就活が具体化するイベント』として「働きやすさ」をテーマに開催している合同就職説明会です。大学や専門学校で福祉・保育系の資格取得を目指す学生や福祉分野に興味がある学生に、福祉分野の就職活動やリアルな現場の様子、リアルな現場の様子、仕事としての魅力、給与・待遇など学生が気になる情報を集めることができるイベントです。私服参加できる開放的な空間で、リラックスしながら話を聞けるため、満足度が高く、施設見学や採用試験に繋がっています。法人にとっても学生にとってもメリットの多い就職説明会です。
- ③職場体験・インターン事業**
職場の雰囲気や職員の様子、実際の仕事内容など1日~3日体験いただけます。実際に体験することで安心して就職活動することができ、自分の強みを活かせる方向性を定めることもできるため、ミスマッチも減らすことができます。
- ④大学訪問**
福祉人材センターでは、福祉の仕事の魅力を伝えるための大学訪問も行っています。福祉の職員が、福祉の仕事の魅力を学生に直接伝えています。「福祉の仕事へのマイナスイメージが払拭された」「就職活動に前向きな気持ちになれた」といった感想を多くいただき、学生の方野選択や就職先選びの参考となっています。



福祉の就活フェスタの様子

八女工業高校
「ボランティア
同好会」
の皆さん



「私たちの活動が未来の地域づくりにつながるように」

県南部の筑後市にある県立八女工業高校は、社会に貢献する工業技術者、職業人を育成することを使命とし、100年を超える歴史と伝統に培われた工業高校です。

同校ボランティア同好会は、自分の力を誰かの助けにをモットーに、一人でも多くの高校生にボランティア活動の良さを知ってもらうために活動を始めました。活動当初は、募金活動の協力などを行っていましたが、生徒からの「他にもボランティアでできる活動はないですか」という声を受け、顧問の箱丸先生は、自身が学生時に行っていたパトロールランニング（以下、「パトラン」）を紹介しました。

パトランとは、街を走りながら行うパトロールのことで、同好会の目標でもある「誰もが気軽に参加できるボランティア活動」にも合致することから、早速パトランを活動に加えることとしました。



毎週月曜日の放課後に

行っているパトランが地元でも話題となり、子ども食堂やフードバンク、地域のお祭りなどの地域貢献活動に参加する機会が増え、活動の幅が広がっています。

昨年、学校やボランティア活動分野の垣根を越えて交流し、お互いの活動の理解を深め、切磋琢磨することを目的とした「高校生ボランティア・アワード2024」にパトランから始まる地域貢献活動をテーマにエントリーしました。自分たちの活動内容をプレゼン発表した結果、全国大会に出場することとなりました。

8月の全国大会に参加した田中逸葵さんは、全国から集まった高校の取組がどれも素晴らしく刺激を受けました。他校の生徒にはもちろん、企業や関係者の方たちにも、自分たちの活動に興味を持っていただけたことは、大きなやりがいを感じることができました。小さな活動が明るい未来を作る大きな一歩となっている手応えを感じていました。

また、同好会の境越さんは「初めて参加したときにボランティアの楽しさを感じました。卒業してもこの経験を糧に、明るい地域づくりに向けて、自分たちができることを探して活動していきます」と話していただきました。そして、箱丸先生は「パトランが本校の生徒とマッチしたことはとても大きなことでした。今後多様なボランティア活動への参加を通して色々な方たちの役に立つ経験を積むことで、将来の地域づくりを担う人材になってほしいです」と生徒の将来に期待を寄せられました。



地域や活動分野を超えて交流の輪を広げました

2月16日(日)にクローバープラザ(春日市)で開催した本フェスティバルでは、県内外で活動するボランティア関係者約1200人が集いました。

基調講演では、「楽しい助け合い活動！ボランティア地域活動のすずめ！〜生きがい・やりがい・楽しさ・自分発見の生き方探し〜」と題して、ふくしと教育の実践研究所SOLA主宰 新崎 国広 氏に講演いただきました。

新崎氏は実践事例を交えながら「社会的孤立など地域を取り巻く地域福祉課題に対し、ボランティアへの興味関心は低くても、困っている人を見かけたら助けたいと思っている人は沢山います。皆さんは話し上手や聴き上手、助け上手、助けられ上手になっていただきたい」と語り、誰かが自分らしく豊かに暮らせる社会を目指して「ふくし」と力強いメッセージを送られました。

午後からは、「子どもたちが活躍・輝く居場所」、「ボランティアと学ぶ・育む福祉体験」、「ふくおかミライ会議」をテーマに3つの分科会に分かれて研鑽を深めました。「ふくおかミライ会議」では、福岡県立大学不登校・ひきこもりサポ-

トセンターと八女工業高校ボランティア同好会の学生から地域で実践している活動内容を発表していただきました。

参加者からは、「学生が地域の課題に目を向けて、活動してくれていることは、安心して暮らせるまちづくりにつながっていくと思います」とお話しいただきました。

他の分科会でも、各団体の実践発表に共感するとともに、多くの質問も出され、今後の活動の参考になったと、大いに盛り上がりしました。

また、おやこ「きずな」イベントでは、パネルシアターや楽器演奏、工作、防災イベント等様々な趣向を凝らした催しの他、あすばるライブラリーでは「読み聞かせ」も行われ、楽しそうにふれあう親子の姿が見られました。

併せて、スタンプラリーや、パン・お菓子・コーヒールなどのまごころ製品の販売も同時開催され、参加者の交流の輪が広がりました。

- ①開会式での服部福岡県知事からの祝辞
- ②基調講演の様子
- ③テーマ別分科会の様子
- ④防災イベントの様子
- ⑤おやこ「きずな」イベントの様子

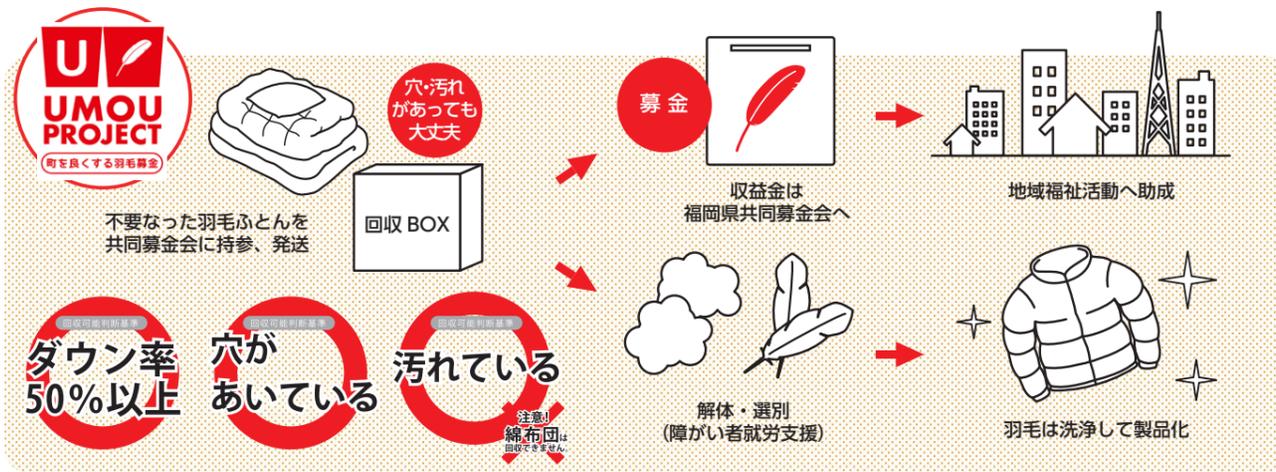
羽毛×赤い羽根

羽毛のリサイクルで
じぶんの町を
よくするしくみ

福岡県共同募金会では、ご家庭で不要になった羽毛ふとんとダウンジャケットを回収し、リサイクル業者へ送付することで赤い羽根共同募金につながる『羽毛プロジェクト』を始めます。

このプロジェクトは、羽毛ふとんなどを回収し、中身の羽毛をリフレッシュ(洗浄)させることで資源の有効活用を目指すものであり、再利用することで二酸化炭素の排出を削減できる効果があります。また、羽毛のリサイクルを担っている業者は障がい者施設と共働した羽毛リサイクルの仕組みを構築しており、障がい者の自立・共生・共働を支える取組として支援の輪を広げる活動にも繋がっています。

不要な羽毛ふとんとダウンジャケットがございましたら福岡県共同募金会までご連絡ください。



令和7年度
赤い羽根キャッチフレーズ募集予告



特別賞受賞式の様子

県共同募金会では、毎年、福祉教育の一環として、県内の小・中・高・特別支援学校に在学する児童・生徒の皆さんを対象に「赤い羽根キャッチフレーズ」の募集を行っています。令和6年度は45の学校の児童・生徒から5001点の応募をいただきました。

この募集は、次代を担う児童・生徒が共同募金の理解・関心を深め、自分たちも地域の一員であるという意識や責任感を身に付ける機会としていただけるよう実施しており、赤い羽根共同募金運動を通じて、地域に広がる「優しさや支え合いの輪」「福祉のまちづくり」をイメージするようなキャッチフレーズを応募いただいています。

最優秀作品は、その年のポスターやチラシなどに掲載し、広報・啓発活動に活用しています。

令和7年度も4月上旬に県内の小・中・高・特別支援学校に募集案内を行い、学校単位で応募いただく予定としております。学校関係者の皆様には積極的なご協力をよろしく願っております。

令和7年度
(令和8年度事業)

共同募金配分申請
(広域配分 施設)のご案内

民間社会福祉施設の増改築及び補修、備品及び車両の整備のため、令和7年度の共同募金を財源とする令和8年度事業の配分を希望される施設からの申請を右記のとおり受け付けます。

詳細は令和7年4月上旬に本会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

問い合わせ先
福岡県共同募金会 ☎092-584-3388

- 1 対象施設**
社会福祉法にいう第1種社会福祉事業のうち入所を目的とするもの(救護施設、乳児院、児童養護施設、障害者支援施設、特別養護老人ホームなど)
※ただし、同一施設・事業所で過去3年間(2023年4月1日以降)に他団体・企業からの助成が決定した場合は申請対象外となりますのでご注意ください。
- 2 対象事業**
施設整備、備品整備、車両整備
- 3 事業実施年度**
令和8年度に事業実施
- 4 配分上限額**
300万円
(総事業費の3/4を限度)
- 5 申請受付期間**
令和7年4月上旬から
5月中旬(予定)



令和6年度
赤い羽根キャッチフレーズ優秀作品及び特別賞受賞校

👑 最優秀作	たすけあう やさしいハート まちじゅうに	福岡市立当仁中学校	2年 辻 結夢
👑 優秀作	この羽根で 心に笑顔 届けよう あたたかい みんなでつないだ 思いやり おもいやり みんなしあわせ あかいはね たすけ合い みんなになく おもいやり ひろげよう。みらいにつながる たすけあい あふれる みんなの 思いやり 思いやり みんなでつなく 赤い羽根 届けよう、みんなの思いを のせてゆけ このまちに 未来を照らす 赤い羽根 地域を支えるのは私たち 1人1人の思いを赤い羽根にのせて 人と人 心をつなげる 赤い羽根	北九州市立井堀小学校 北九州市立井堀小学校 久山町立久原小学校 久山町立山田小学校 久山町立山田小学校 糸島市立福吉中学校 福岡県立輝翔館中等教育学校 大牟田市立宮原中学校 福岡県立八幡高等学校 福岡県立戸畑高等学校 福岡県立朝倉光陽高等学校 福岡県立三池工業高等学校	6年 吉川 陸人 5年 稲田 遙希 2年 大野木桃李 4年 高島 凜 3年 藤野 彩 2年 石山 幸芽 2年 田中 珠莉 3年 冨田 暖香 2年 小田 青空 2年 松井駿之介 3年 矢ヶ部美優 3年 徳永 悠麻

👑 特別賞
北九州市立井堀小学校、宇美町立宇美小学校、久山町立久原小学校、久山町立山田小学校、福岡市立当仁中学校、大牟田市立宮原中学校、行橋市立中京中学校、古賀市立古賀中学校、福岡県立輝翔館中等教育学校、糸島市立志摩中学校、糸島市立前原中学校、北九州市立八幡西特別支援学校、福岡県立八幡高等学校、福岡県立戸畑高等学校、柳川高等学校、福岡市立南福岡特別支援学校、福岡県立三池工業高等学校、福岡県立福島高等学校、福岡県立柳河特別支援学校

案内

令和7年度福岡県
地域密着型サービス
外部評価のご案内



外部評価は、事業所の自己評価を基に、調査員が事業所を訪問して調査を行い、事業所の優れている点や、今後取り組むべき課題を明らかにする仕組みです。

認知症高齢者グループホームは、原則として年1回の受審義務があります。

福岡県社会福祉協議会では、福岡県から選定を受けた評価機関として平成17年度から外部評価事業を実施しています。

【累計1,197件の評価実績】

手数料

・3ユニット以下 90,000円

受審により期待される効果

- ①現在提供しているサービスについて、優れている点や改善点が明らかになります。
- ②サービスの質の向上に向けて、具体的な目標を設定することができます。
- ③評価結果を広く公表することにより、利用者や家族、地域からの信頼が得られやすくなります。

評価結果はWAMNET
(ワムネット)で公開
されています。



本会ホームページまたはQRコードから申込書をダウンロードのうえ、FAXでお申込みください。

問 権利擁護センター
TEL 092(584)3610

福岡県民共済生活協同組合様
からの寄附

福岡県民共済生活協同組合様から、寄附をいただきました。いただいた浄財は、県内社会福祉の推進に有効に活用させていただきます。

誠にありがとうございます。



募集

最新の福祉用具を
「見て・触れて・試して」
みませんか!!



福祉用具展示室では、高齢者の自立を助け、介護者の負担を軽減する福祉用具をコーナーごとに約600点展示しています。また、介護が必要な方々の日常生活に役立つ用具の紹介等も行っていますので、お気軽にご相談ください。団体での見学も受け付けています

※福祉用具の展示のみで販売・貸出は行っていません。

場 所 クローバープラザ
(春日市原町3-1-7
東棟2階)
開館時間 9時から17時まで
休 館 日 毎週月曜日(第4月曜日は除く、祝日の場合はその翌日)、年末年始、お盆

問 福祉用具展示室
TEL 092(584)4316

寄附・寄贈の御礼

公益社団法人生命保険
ファイナンシャルアドバイザー
協会様からの寄附

生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会様は1月31日の「生命保険の日」に合わせて全国の都道府県社会福祉協議会へ寄附を行う活動を行っており、福岡県では福岡協会様及び北九州協会様合同で寄附をいただきました

いただいた浄財は、県内社会福祉の推進に有効に活用させていただきます。

誠にありがとうございます。

トヨタ自動車九州株式会社様
からの寄附

トヨタ自動車九州株式会社様は社員が地域貢献活動等を行った際にポイントを付与し、社員がそのポイントの使用先を選ぶことで、更なる社会貢献(寄附)に繋げる取組を行っています。今回、寄附先として「災害支援」の要望が高かったことから、平時から研修等を通じて災害支援に取り組んでいる本会に、ポイントを活用した寄附をいただきました。

いただいた浄財は、災害時に備えた平時の研修等に有効に活用させていただきます。

誠にありがとうございます。



令和6年度福岡県民生委員・児童委員大会が開催されました



去る1月31日(金)に令和6年度福岡県民生委員・児童委員大会が約950名の参加のもと開催されました。開会にあたり、福岡県民生委員児童委員協議会の石橋 壯児会長は、地域住民に寄り添い、課題を発見し、専門機関につなぐ活動を続けている民生委員・児童委員への感謝の言葉を述べるとともに、地域共生社会の実現に向けた取組の推進をお願いしました。



式典では、石橋会長から長年にわたり民生委員・児童委員として活動を続けてこられた方々の代表者に表彰状が贈られ、被表彰者52名を代表して中間市の世良 美佐子さんが謝辞を述べました。

記念講演では、「それで、よかよか」寛容の精神が醸成される社会へ」と題して、福岡市にある不登校生徒の自立を支援する学校法人立花学園 立花高等学校 校長 齋藤 眞人氏に話していただきました。

齋藤氏は「できないことを嘆くより、できていることを認めること」を大切に、教育の主体者は生徒と向き合い、生徒それぞれが現状を受け止めながらも熱心に関わっている様子などを紹介され、「寛容の精神が醸成される社会」にしていきたい」とメッセージを伝えられました。

会場は感動につつまれ、参加者は今後の活動に気持ちもあらたに会場を後にしました。

福岡県、(株)デンソー九州と災害ボランティアセンターの運営支援に関する協定を締結しました



本会では、災害時の被災者の多種多様な困りごとを丁寧に対応し、効果的な支援活動に繋げるため、様々な専門性、資源、技能等を有する企業・団体等と災害ボランティアセンター(以下、「災ボラ」と)との連携・協働に平時から取り組んでいます。

この一環として、去る1月31日(金)、福岡県、株式会社デンソー九州(以下、「デンソー九州」)、本会の3者は、県庁で「災害ボランティアセンターの運営支援等に関する協定」を締結しました。デンソー九州は、これまで本会の研修に参加いただいていたおり、昨年の大雨災害では、災ボラの運営支援にも協力いただいていたことから、今回の協定締結に至りました。

この協定に基づき、平時において、県と本会は、デンソー九州の災害支援者の養成に協力し、災害発生時には、本会からの要請に応じて、職員を災ボラの運営支援者として派遣いただくほか、必要に応じて車両の貸出、物品の提供・貸与等の支援をいただきます。

締結式で、服部誠太郎福岡県知事は「さまざまな主体と連携して地域協働型のボランティアセンターを運営することが重要。これをきっかけに災害発生に負けず、県民の命と健康を守る取り組みをさらに強化していきたい」とあいさつされました。

また、酒見俊夫福岡県社会福祉協議会会長は「本会では、全国に先駆けて常設型の災害福祉支援センターを設置しており、平時から災ボラに協力いただける企業を開拓している。今後も多様な主体との連携を強化していくことで、災ボラ設置・運営に対し、初期から迅速かつ効果的・効率的な支援が展開できるよう、体制を整えていく」と決意を述べました。

本会では、企業・団体と平時から関係性を構築し、それぞれの強みを生かした被災地支援等に繋げる取組を今後も進めてまいります。